

セポ ・ レポ ・ ハイスクール Cepo Repo ・ HighSchool

第2号 (2020年8月 発信)

地域連携教育推進室員が県立高校等に赴き、各学校の地域連携教育の取組をレポートしていきます。このレポートのタイトルである「セポ・レポ・ハイスクール」の「セポ」は「地域連携教育推進室」を表す「Community Education Promotion Office」の、「レポ」は「Report」の略称です。

県立防府商工高等学校の取組



7月14日、県立防府商工高等学校の情報処理科の3年生39名が防府市の「高校生職員」として任命されました。

チェック!

防府商工高校の学校運営協議会には、防府市の首長部局の方が学校運営協議会委員として参加しており、防府商工高校の「めざす学校像」や「育てたい生徒像」をしっかりと共有したうえで、両者の連携・協働活動を教育課程の中に「総合実践」という科目として位置付けています。

チェック!

両者は、学校運営協議会という法的に設置された協議機関を通じて、組織的・継続的な連携・協働体制を確立しており、6年目を迎えたこの防府市との取組は、まさにコミュニティ・スクールの仕組みを生かした取組といえます。

当日の任命式では、事前に担当教諭から、防府市の素晴らしい地域資源を活用して、自分自身が関わって地域をよりよくしていこうとするシビックプライドをもって学習を進める上で、地域課題を自分達事にするといった当事者意識の視点を持つことの重要性について説明がありました。学校・地域・家庭だけではなく生徒自身がビジョンを共有し、しっかりと学びに向かえるよう工夫がされていました。ポイント!

池田市長は御挨拶の中で、昨年度まで「模擬職員」としていた名称を「高校生職員」に改め、正式に任命することで、高校生の意見や考え方を尊重し、来年策定予定の市の総合計画に高校生の提言を反映させていきたいというお考えを生徒達に伝えていました。

任命式後、生徒達は、防府市の商工振興課、子育て支援課、おもてなし観光課、都市計

画課など4つの課題別のグループに分かれて、市の担当者から、市の現状等について説明を受けました。今後は、10月の市長への提言に向けて、商工会や事業所等と連携してフィールドワーク等を行い、改善策の立案やビジネスモデルづくり等をしていきます。

こうした取組を通じて、地域のビジネスと直結した専門高校らしい学習が期待できるとともに、生徒達は、自分達の学習成果が市政に本当に反映されるかもしれないという期待をもって、自分達事として地域の課題を捉え、解決に向けて主体的・協働的に学ぶことができるのではないのでしょうか。まさに「人づくりと地域づくりの好循環」をめざした山口県ならではの取組だといえます。

ポイント！



防府商工高校のホームページでは、生徒の活動や授業等の様子が「インスタグラム」や「フェイスブック」にタイムリーに掲載されています。また、「学校運営協議会」というコンテンツが用意されており、これまでの学校運営協議会の協議議事録や、その協議結果を踏まえた学校評価書を御覧いただくことができます。そして、何と云っても、「防府商工コミュニティ・スクールだより（CSだより）」です。この「CSだより」を通じて、防府商工高校の様々な地域連携教育の取組を御覧いただくことができます。ぜひ御一読ください。必見です！

チェック！

県立防府商工高等学校の情報はこちらから→ <http://www.hofu-ct.ysn21.jp/>

